

キリンビール 2013年1月マンスリー・レポート

1. ビール・発泡酒・新ジャンル市場販売動向

- ビール+発泡酒+新ジャンル計は、マイナスとなったものの、「一番搾り」はプラスで着地するなど好調に推移。
- ビール計は、マイナス。
- 発泡酒計は、マイナス。
- 新ジャンル計は、マイナス。

《ビール》

- ◆「一番搾り」は、飲食店向けの樽が好調に推移したことにより、プラス。

《発泡酒》

- ◆「淡麗」シリーズは市場同様にマイナスとなったものの、市場平均を上回った。

《新ジャンル》

- ◆ 8年連続売上げNo. 1※の「のどごし〈生〉」は、マイナス。2月上旬製造品からのリニューアルに合わせ、大規模なプロモーションを実施予定。
 - ◆ 2月20日には“デラックス”な濃い味を実現した、「キリン 濃い味〈DELUXE〉（デラックス）」を発売し、同カテゴリーでのさらなる支持拡大を図る。
- ※ 2005年「その他の雑酒②」、2006年～2012年「その他の醸造酒（発泡性）①」課税出荷数量による

《RTD》

- ◆「氷結」は、季節限定商品を発売したスタンダードシリーズや早摘みシリーズを中心に好調で、約2割のプラス。
- ◆「本搾り」は、新フレーバーの発売も寄与し、対前年約3倍となるなど大幅プラス。

2. 洋酒販売動向

- ウイスキー計は、「ジョニーウォーカー」などの主カアイテムが好調に推移し、プラス。
- ◆「ジョニーウォーカー」は、昨年末に発売した「プラチナムラベル18年」「ゴールドラベルリザーブ」の発売効果もあり、1割以上のプラス。
- ◆ 主カバーボンブランドの「I.Wハーパー」「フォアローゼズ」はともに約1割増。

以 上